

調査報告書

- 1 とき：2012年10月12日
- 2 行先：国際航空宇宙展セントレア会場
- 3 参加者：わしの恵子、田口一登、山口清明、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容
 - ・ 「2012年国際航空宇宙展」は12日から14日まで中部国際空港も会場に加わりました。飛行場での宇宙展開催は29年ぶり。
 - ・ 通常立ち入ることができない滑走路の一部を展示・観覧エリアとして、様々な飛行機を間近に見ることができ、操縦席に座れる飛行機も数機ありました。自衛隊の飛行機も展示されていましたが、部品専用輸送機「ドリームリフター」や民間機に多くの人が集まっていました。「部品運搬大型機ドリームリフターは、名古屋近郊で製造された飛行機のパーツをそのまま積み込むことができ、セントレアでのみ運行している」と係員が説明してくれました。操縦席に乗れる飛行機では、隣の席に係員が座り操縦の仕方や機械の説明など聞くことができますが、熱心に質問する人がいると順番が回らず、「時間が長すぎる」と並んでいる人はあきらめて列から外れていました。飛行機の横に立っている係の人は、こちらから質問すると詳しく丁寧に説明してくれます。
 - ・ 屋内展示エリアの自衛隊ブースでは、自衛隊の人が積極的に声掛けして案内物を渡し、自衛隊員募集のポスターも貼られていました。